

営農ウィークリー NEWS

JA京都中央営農者会技術交流大会 ～盛り上がった地域間の情報交換～



あいさつで活発な交流を呼びかける平岡正弘会長



協同組合の精神、JA京都中央のこれからの方向について講演する稲田正文専務

JA京都中央営農者会は、相互の技術交流を図ることを目的として、7月25日、京都タワーホテルで技術交流大会を開催し、にぎやかに情報交換が行われました。平岡会長は、盛んに情報交換を行い農業経営の向上を図っていきたくいと挨拶されました。また、富阪組合長も、担い手は地域農業にとって重要で活発な交流を期待していると強調されました。

研修会では稲田専務の「JA京都中央の目指す方向」と題した講演と、荒木技術顧問の「病虫害防除と作業改善」、京都乙訓農業改良普及センター荒田副所長の「病虫害発生予察情報」についての情報提供がありました。



営農者会の重要性を強調する富阪裕一組合長

—TAC information—

みのる半自動野菜移植機 本格始動!!!



本年度、JA 京都中央で導入した、みのる産業株式会社「半自動野菜移植機 VT-2」の普及拡大に向けた取組みが本格始動いたしました!!!

今回は、大原野支店管内で、白菜の苗（約700株）の定植を実施。

今後も、移植機の普及拡大そして農業所得の増大に向け、取り組んでいきます!!!



防除指導手帳の説明や、農作業の軽減について
情報提供する荒木技術顧問



特殊報ネギの「チバクロバネキノコバエ」について
報告する荒田京都乙訓普及センター副所長



各協賛メーカーからの賞品が当たるビンゴゲーム。
肥料などのほかに、うなぎの蒲焼も！！



交流会では、熱い議論に花が咲く。



全農の肥料・農薬紹介コーナーでも、活発な質問
に全農職員も説明に熱が入る



展示されたJAに整備した半自動野菜移植機。作業改善を図る低コストマシン。花菜、キャベツなどの定植作業軽減に向けた実演用機器。